

< 学部消息 >

教 授 会 メ モ

63年9月14日(水) 定例教授会

理学部4号館1220号講義室

- 議題 (1) 前回議事録承認
(2) 人事異動等報告
(3) 物品寄附の受入れについて
(4) 奨学寄附金の受入れについて
(5) 学部研究生の受入れについて
(6) 昭和63年度文部省内地研究員の受入れについて
(7) 会計委員会報告
(8) 企画委員会報告
(9) その他

63年10月19日(水) 定例教授会

理学部4号館1320号室

- 議題 (1) 前回議事録承認
(2) 人事異動等報告
(3) 奨学寄附金の受入れについて

(4) 学部学生の休学(延長)について

- (5) 人事委員会報告
(6) 教務委員会報告
(7) 教養学部連絡委員会報告
(8) 会計委員会報告
(9) 企画委員会報告
(10) その他

63年11月16日(水) 定例教授会

理学部4号館1320号室

- 議題 (1) 前回議事録承認
(2) 人事異動等報告
(3) 奨学寄附金の受入れについて
(4) 昭和64年度文部省内地研究員の受入れについて
(5) 人事委員会報告
(6) 企画委員会報告
(7) その他

理 学 博 士 の 学 位 取 得 者

[昭和63年9月28日付 (7名)]

専攻	氏名	論文題目
植物学	森安裕二	シャジクモ植物の一種 <i>Chara australis</i> における細胞内タンパク質分解機構の研究
相関理化学	加藤美砂子	黄化葉の緑化期における脂質合成系の展開の研究
論文博士	新美幸夫	基本座標系(基本星表に基づく)と力学座標系(運動理論に基づく)の関係、および外惑星の軌道要素の改良
論文博士	代谷陽子	アワビ精子の先体反応に関する研究
論文博士	長崎憲一	球対称領域における非線型楕円型境界値問題
植物学	坂口修一	茎頂頂端分裂組織における細胞壁微小管の配列に関する研究

◎修業年限の特例による学位授与者

物理学 川崎雅裕 質量をもったニュートリノの輻射崩壊に対する宇宙論的制限

〔昭和63年9月30日付（3名）〕

専攻	氏名	論文題目
化学	金賢珠	金属ジチオレン錯体を含む分子性伝導体の構造と物性
生物化学	河鍾明	核磁気共鳴によるヒトc-Ha-rasタンパク質の高次構造の研究
植物学	任炯卓	オオダイトウヒレン群（キク科）の分類学的研究

〔昭和63年10月24日付（7名）〕

論文博士	下山俊夫	わが国古第三紀の炭層中の硫黄の含有量と安定同位体組成
論文博士	中井俊一	La-Ba法による年代測定法の開発とその地球科学的応用
論文博士	福島登志夫	ポスト・ニュートンの枠組におけるフェルミ座標系
論文博士	石畑清	Ada並列プログラムのプログラム変換技法とその応用
情報科学	袁鷹	多面体における色分散光線追跡法
論文博士	古山透	高密度ダイナミックランダムアクセスメモリの研究
論文博士	藤代一成	データモデル写像を用いたリンク指向データベース論理設計方法論の研究

人 事 異 動

（講師以上）

所属	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
物理	助教授	川合光	63. 9. 1	採用	
植物	教授	加藤栄	63. 10. 1	配置換	教養学部教授より
動物	〃	川島誠一郎	〃	〃	広島大学教授より
物理	〃	菅原寛孝	〃	併任	63. 12. 31 まで
学際理学 客員講座	〃	山田尚勇	〃	理学系 併任	本務：学術情報センター 64. 3. 31 まで
化学	助教授	吉藤正明	〃	昇任	助手より
中間子 (客員部門)	〃	今里純	〃	併任	63. 12. 31 まで
数学	講師	鈴木貴	63. 9. 30	辞職	東京都立大学助教授へ
人類	助教授	平井百樹	63. 11. 16	昇任	講師より

（助手）

所属	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
植物	助手	寺島一郎	63. 9. 1	採用	
中間子	〃	坂元眞一	〃	〃	
人類	〃	高橋秀雄	63. 8. 31	辞職	独協医科大学助手へ
物理	〃	三明康郎	63. 8. 23	休職	64. 6. 15 まで
〃	〃	木村芳文	63. 9. 1	〃	64. 6. 28 まで

所属	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
中間子	助手	門野良典	63. 9. 1	休職	64. 3. 31まで
鉱物	"	工藤康弘	"	休職更新	64. 8. 31まで
物理	"	家富洋	"	"	64. 9. 30まで
動物	"	山下哲郎	63. 10. 1	採用	
化学	"	中田賢次	"	昇任	技官より
地質	"	原村寛	"	"	"
中間子	"	久野良孝	"	休職更新	63. 11. 30まで
数学	"	久我健一	"	昇任	千葉大学助教授へ
地殻化学 実験施設	"	平田直	"	"	"
植物	"	花田賢太郎	63. 11. 1	転任	国立予防衛生研究所技官へ

(職員)

所属	官職	氏名	発令年月日	異動内容	備考
事務部	専門職員	小谷昭	63. 10. 1	庶務掛長 併任解除	
"	庶務掛長	堀内勉	"	復職	
"	図書掛長	吉田純子	"	配置換	附属図書館洋書目録掛長へ
"	"	高木由美子	"	"	附属図書館洋書目録掛長より

外国人客員研究員

所属	受入れ教官	国籍	氏名	現職	研究員期間	備考
数学科	大島教授	フランス	SCHAPIRA, Pierre	パリ第13大学教授	63. 8. 10～ 63. 10. 21	
数学科	小松教授	ベトナム	TRAN, Van Duc	ハノイ数学研究所 教授	63. 9. 1～ 63. 12. 29	
地球物理学 科	松野教授	アメリカ合衆国	CEHELSKY, Priscilla	クラークサン大学 研究員	63. 10. 1～ 63. 12. 31	期間延長 旧期間 62. 10. 1～ 63. 9. 30
情報科学科	國井教授	フィンランド	VIITANEN, Jouko Olavi	タンペレ技術大学 情報技術研究所上 級研究員	63. 10. 3～ 63. 11. 30	
物理学科	大塚助教授	連合王国	MORRISON, Iain	メルボルン大学上 級講師	63. 11. 10～ 63. 12. 10	
物理学科	江口助教授	フランス	ITZYKSON, Claude	サクレー理論物理 研究所原子力委員 会主任研究員	63. 10. 3～ 63. 11. 11	
中間子科学 研究センター	永嶺助教授	カナダ	FLEMING, Donald George	ブリティッシュコ ロンビア大学教授	63. 10. 5～ 63. 12. 3	
物理学科	有馬教授	ソビエト連邦共 和国	MIGDAL, Arkadiy Benedictovich	ランダウ理論物理 学研究所教授	63. 10. 11～ 63. 11. 24	

所属	受入れ教官	国籍	氏名	現職	研究員期間	備考
数学科	伊原教授	アメリカ合衆国	MESSING, William	ミネソタ大学教授	63. 10. 17～ 64. 1. 16	
地球物理研究施設	小口教授	ノルウェー	SANDHOLT, Per Even	オスロ大学助教授	63. 11. 1～ 63. 12. 30	

海外渡航者

(6ヶ月以上)

所属	官職	氏名	渡航先	期間	目的
素粒子	助手	竹下 徹	スイス	63. 9. 1～ 64. 3. 31	国際協同実験電子・陽電子衝突実験のため
天文研	〃	田邊 俊彦	アメリカ合衆国	63. 9. 25～ 64. 9. 30	微粒子形成過程解明のためのプリコンデンセーションクラスターの実験的研究のため
地質	〃	藤本 光一郎	フランス	63. 10. 1～ 64. 7. 31	鉱物と熱水の反応の素過程に関する研究のため
数学	〃	古田 幹雄	連合王国	63. 10. 1～ 64. 6. 1	オックスフォード大学にて、オービフォールド上のヤン・ミルズ場の研究のため
素粒子	〃	福永 力	スイス	63. 10. 10～ 64. 7. 20	$e^+ e^-$ 相互衝突装置「LEP」における万能型測定装置「OPAL」建設の為の調査研究のため
地質	〃	伊藤谷 生	アメリカ合衆国・カナダ	63. 10. 12～ 64. 8. 11	活断層における変異累積過程と地形変形の研究のため
素粒子	〃	川本 辰男	スイス	63. 11. 2～ 64. 7. 25	$e^+ e^-$ 相互衝突装置「LEP」における万能型測定装置「OPAL」建設の為の調査研究のため
〃	助教授	武田 廣	〃	63. 11. 12～ 65. 10. 31	国際協同実験電子・陽電子衝突実験のため
化学	助手	酒井 陽一	アメリカ合衆国	63. 11. 20～ 64. 10. 23	放射化学の研究のため

理学部長と理職の交渉

8月16日、9月19日、10月31日に理学部長と理学部職員組合(理職)の交渉が行なわれた。その主な内容は次のとおりである。

1. 助手の大学院手当申請洩れについて

理職は、助手に対する大学院手当が、資格がありながら支給されていない助手が多数いることの事態について説明を求めた。学部長は、「およそ理職の指摘通りであり大変迷惑に思う」とのべ今後は、発令は理学

系研究科委員会の報告事項とするなどの改善を行なうことを確約した。

理職はさらに、再びこのような問題が起きないようにするため、事務手続に関するパンフレットの作成や手続の変更時の研修を徹底して欲しいと要望したのに対し、学部長は「事務部と相談して出したい」とのべた。

また理職は、「賃金に関わる大事な問題であるので、何らかの形で、理学部広報に掲載すべきであると要求

した。学部長は、前例にならい「学部長の書簡」と、「組合の返事」という型で広報に掲載する」と答えた。

2. 技術系職員の組織化と専門行政職俸給表適用について

理職は、国大協の「組織化モデル案」には反対であるとの意志を表明し、現在の進展状況について質問した。企画委員会技官問題検討小委員会の小口委員長は、「小委員会を開き、組織化の骨組となる一下敷を作る、宮沢素案、国大協案ともそのまま理学部に適用できるものではなく検討している」と答えた。さらに理職が「ライン制の組織化には危惧の念が強い。スタッフ制を追求して欲しい」と要求したのに対して、学部長は、「小口委員長にまかせているが、技術系職員の意向も尊重する」と答えた。

3. 理学院計画について

理職は、調査費の件と、柏市の現地視察の件について説明を求めた。学部長は、大学院重点化に関する調査費については東大独自の要求ではなく、文部省から一般的なテーマで予算要求する形になったことと、柏市の現地視察の際に一部で報じられた理学部全面移転は誤報であるとのべた。

和田委員長は、「事務・技術の組織を強化する必要がある。今年中を目標に和田試案を出してから組織について定性的な形をきめ、来年には定量化したい。各職種からの意見も聞くつもりである」とのべた。

4. 教務職員の助手昇格について

理職は、2名の助手昇格が実現したことに対して、当局の努力に敬意を表するとともに来年については、実施時期を早めるよう要望した。学部長は、「次年度以降にも検討・努力を鋭意行って貰うよう次期学部長に引き継ぐ」とのべた。

5. 行(二) 職員の行(一) 振替えについて

理職は、このことについて組織化とのからみもあり早く実現して欲しい旨を要望した。学部長は「特殊なケースであることは理解しているが、引きつづき努力する」と答えた。

6. その他

勤務延長再任用の件、定員外職員の定員化、行(二) 職員の昇格、事務職員に対する白衣貸与の件等について話し合われた。

第35回東京大学総合研究資料館講演会開催のお知らせ

このたび、総合研究資料館では、下記により講演会を開催いたします。なお、武内教授は来年3月に定年退官される予定ですが、同先生の最終講義を兼ねて開催するものです。研究者及び学生の方々をはじめ広く一般の方々の聴講を歓迎いたしますので、ご希望の方は、直接会場へおいでくださるようご案内します。

記

1. 第35回東京大学総合研究資料館講演会

講演：「地熱帯と金鉱床—地殻中の熱水活動について」

講演者：武内壽久 工学部教授（総合研究資料館長）

2. 日時：1989年2月3日（金）午後3時～5時

3. 場所：総合研究資料館講義室 * 赤門入る右折れ歩1～2分

☎ 03(812)2111 内線2802

4. 入場：自由（無料）

編集後記

現在、技術系職員の組織化が検討されており、8月に開かれた理学部技術系職員シンポジウムでも小口評議員からその現状が紹介されました。この問題については、本来1月発行の理学部広報で技術系職員有志の意見が紹介されております。今回は小口評議員と、一部の教室・施設に原稿を依頼しましたが、技術系職員の職務の多様さと、それぞれのところで様々な問題点をかかえていることがよくわかります。臨海実験所の採集人の職務を入れるとさらに内容が拡大します。組織化の検討を機会に、技術系職員の人達が今まで以上に意欲的にそれぞれの職務に励むことができるような方向に展開すれば素晴らしいことです。

7月1日に新たに発足した天文学教育研究センターに関して、内田豊センター長から発足のいきさつを含め詳細なご報告をいただき、同センターがとても身近かな存在に感じられるようになりました。

今期は今井先生の文化勲章、小柴先生の文化功労賞、西川先生の紫授褒賞と、めでたい受賞がありました。一方で、木村健二郎先生と茅誠司先生を相次いで失うという悲しいできごともありました。

お忙しい中を広報3号に原稿をお寄せいただいた方々に御礼申し上げます。

(高橋)